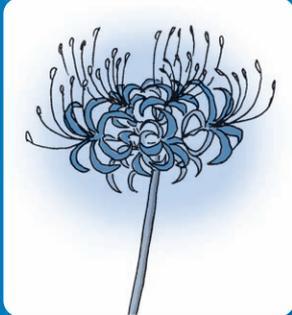


ばんげい 教育ほつとにゅーす かわら版

こ みち

# 教育の小径 No.11



今月の花／ヒガンバナ  
花ことば／悲しい思い出・情熱

今月の「今日は何の日」

9月 1日：防災の日・二百十日  
9月 2日：宝くじの日  
9月 5日：国民栄誉賞の日  
9月 7日：白露・クリーナーの日  
9月 9日：救急の日・九九の日  
9月11日：公衆電話の日  
9月12日：宇宙の日  
9月19日：苗字の日  
9月20日：空の日・バスの日  
9月21日：敬老の日  
9月23日：秋分の日  
9月24日：清掃の日  
9月28日：パソコン記念日



北 俊夫先生  
国士舘大学教授

## 家庭での学習習慣

—どうつけるか—

- 家庭での学習時間が少ないのは、テレビを見ている時間が長く、学習する習慣が確立していないためです。
- 宿題の提出、読書の課題、学習計画表の作成など、学習習慣をつけるきっかけをつくるのが大切です。

## テレビ漬けの子ども

わが国の子どもは家庭での学習時間が諸外国と比べて極端に少ないという調査結果が出されています。かつて、文部科学省がアピールした「学びのすすめ」（2002年1月）のなかで「宿題や課題など家庭における学習の充実」を図り、「学ぶ習慣」を身につけるよう求めたことがあります。背景はいずれも同じです。

子どもたちの家庭での生活実態調査によると、テレビを視聴している時間がとても長いという結果が出されています。ある調査によると、中学生は1日平均2時間30分もテレビを見ています。世界49ヶ国中最長です。宿題は1日約1時間で、世界最短レベルです。

テレビを時計変わりしている家庭もありますが、朝起きてから自宅を出るまで、そして学校から帰宅してから就寝するまで、多くの子どもたちはテレビと一緒に生活しているようです。

これでは、家で勉強や読書する時間

が当然短くなってしまいます。どうすればテレビを見ない時間をつくることのできるのか。ここに、家庭で学習習慣を確立させるカギがありそうです。

## テレビを見る時間を決めること

「鉄は熱い内に打て」と諺にあるように、生活の習慣づくりは早ければ早いほうがよいといわれています。家庭生活も含め、学習習慣を確立させる教育やしつけは、小学校の低・中学年の時期が重要であるとされています。また、食生活の習慣など規律正しい生活リズムをつくることも欠かせません。

家庭でのテレビの見方やテレビのある場所は、家庭によって違います。曜日によって見る時間帯（番組）も違うでしょう。

おとなでもそうですが、テレビにスイッチが入っていると、ついだらだらと見つづけてしまいます。保護者の協力を得ながら、テレビのスイッチを切り、その時間を勉強や読書などに振り分けることがどうしても必要です。

## 学校はきっかけをつくる

子どもの教育の第一義的な責任は、保護者にあるとされています（教育基本法第10条）。しかし、子どもの成長や発達に関する事に学校や教師が無関心であってよいわけではありません。時には保護者を啓発・教育することが必要な場合もあります。かつては「家庭で予習・復習を」といわれました。いまでは、実行している子どもはほとんどいないと聞きます。

学校や教師が、例えば次のような工夫をすることによって、家庭での学習習慣を改善するきっかけをつくることができます。

- ・毎日少なくとも1時間程度の宿題を出します。取り組む時間には個人差がありますから、必ず行う宿題と、余力があったら行う宿題を区別して出すことも考えられます。
- ・読書の習慣をつけることです。家庭や学校での読書計画を立てさせ、実行させます。図書の内容や冊数などにあまりとらわれないようにします。
- ・家庭で「学習計画表」を作成させます。ここには、学習した教科、内容、時間を毎日記録させます。

いずれの場合にも、教師がこまめに点検し、結果に対して評価することが大切です。評価するとは、頑張った子どもにはほめてやり、課題のある子どもには自信とやる気をつけるように、より手厚く助言することです。

道徳教育には人としてのあり方や生き方を学ぶことにねらいがあります。道徳の時間は教材と対話しながら「心のクリーニング」をする場であるといわれています。道徳の時間には、副読本が活用されています。一般に読み物教材から編集されています。道徳の地域副読本を作成し、すでに活用しているところもあります。

教材に登場する人物が子どもの身近に存在していると、子どもたちはより親近感を持ちます。その意味で、身近な地域で活躍した人物の業績や生き方などを教材化することによって、人物に対して共感的に理解し、学習効果をさらに高めることが期待できます。

政治、産業、文化、教育、医療、スポーツなどさまざまな面で活躍した人物を取り上げることができます。これらのなかには、偉人、賢人といわれる人物のほかに、地域の福祉や美化活動などに取り組んでいる、ごく一般の人の地道な活動、勇気ある行動、あるいは見方によっては当たりまえのことを教材化することも考えられます。



机の配置は、学習環境の一つです。学習形態と深く関連しています。机は子どもの学習活動の内容によって配置を工夫することができます。

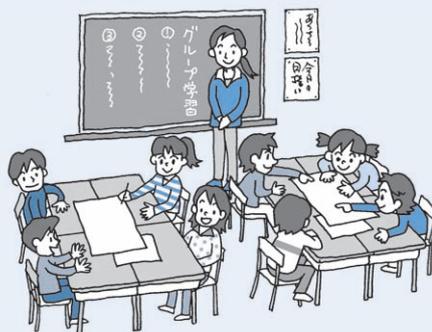
教室の机は、多くの場合、黒板や教壇を前方にして、講義的に配置されています。それは教師が一斉学習の場で指導するときには効果的な形態です。

グループで学習するときや給食を食べるときには、4～6人が机を向かい合わせにします。お互いに顔を合わせることができますので共同作業がしやすく、学び合うことができます。また仲間意識を醸成することができます。

学級全体で討論など話し合い活動を行うときには、向かい合う形やコの字や口の字の形にします。テストや一人調べなど個別に学習するときには、そ

れぞれの机を離すこともあります。

机の配置一つで、子どもは気分を変えます。たかが机ですが、配置一つで雰囲気が変わり、学習効果にも影響を与えます。学習の目的や学習活動に合わせて、机の配置の仕方を工夫したいものです。



教育キーワード 栄養教諭

栄養教諭は平成17年度に導入されました。平成21年4月現在、全国に2648人が発令されています。

栄養教諭は学校栄養職員と異なり、従来の学校給食の管理のほかに、子どもへの個別的な相談指導、教科等における教育指導、食に関する指導の連携・調整などにかかわります。

現在、学校教育の重要課題の一つに「食育」が掲げられていますが、栄養

教諭は学校における食育推進の要としての役割を果たしています。食についてのスペシャリストとして、校内において食の全体計画の策定にかかわるなど専門性を発揮するとともに、地域と学校との間に入ってコーディネイトすることも求められます。

栄養教諭は、学校や地域における食育の中核的な推進役として、その役割が期待されています。

学級通信に使える今月のイラスト



敬老の日



実りの秋

編集後記

家庭教育のもっとも大切なことは、基本的な生活習慣を身につけさせることです。今回は、「家庭での学習習慣」について、具体的な方策を提言していただきました。保護者は、家庭での教育者でもあらねばならないことを痛感しています。(K記)

Information (PR)

好評



**てんまろ 2009**  
ばんびいテスト付属ROM  
通知表作成機能

